ている山岳会や、クラブ、同好会 のことで群馬県山岳連盟に加盟し いわゆるその地域に於ける山岳会

活動内容等もすべて山を愛好する

会員が相談して計画を立て実行す

依るところが大である。今現在、 といった会を代表する人の手腕に 特にその会の代表、会長、理事長

を持って入ってくる者が多い。例

新人は一人~~がいろんな考え方

の中でも多数の会がこの地域山岳

べてだと思うが?。地域山岳会の ると云ういわゆる内々の考えがす

H 印 100円

第26号 昭和60年7月10日

TEL (0272)23 - 1111群馬県庁観光課内 委 正

刷所 森 田 1部

は一般に各市町村を中心とした、 地域山岳会と呼ばれている団体 織は同じ山を志す仲間だけで作り、 会社等にある同好会では、その組る組織が重要な問題となって来る。

常任理事

はその会の受け入れ態勢が特に重 して会員として定着させて行くか では幸いにして毎年多数の新人が 要になって来る。 地域山岳会の特 人会して来る。その人達をいかに に於いてそれぞれが良い意味で強 きの人間はいづれも決まって個々

いると聞いていますが、私共の会

しもが認める人達で、それに山好 リーダーであり、社会的にもだれ

テーマを持ち、何々山域に関して 長い年月を掛けても良いが大きな 一つだけ特別にビックアップして ンの山行をしながらも、その中で

何々山岳会と言われるような

/新入会員が極端に少なくなって

を例に出し恐縮ですが、

最近各会

会運営に関しては又、私共の会

ても各会の代表的人物であり、各

例えば会の活動の中で各セクショ

です。その中で私の期待するのは

って運営している人達はだれを見

職場、又地域ではいづれも立派な

持してあらゆる問題に対処する必

じことが言えると思う。中心にな

書いた会の運営面の大切さも必要

徴かも知れないが多数入ってくる 烈な個性を持ち合せている。その この辺のチームワークと云うか、 集団だけにことさらその中でも中 心になる人は大変であるはずで、 する若い人達に期待したい点です い集団になればと考えている。 一つの特徴を持っている個性の強 これが私の特に地域山岳会に属

わだかまりを捨てて一致協力態勢 組織の基盤となるようである。 協力性と云うものが一つの大きな して何でも心を開いて会話が出来 人間対人間のふれ合いを大切に している人達は、新しく入って来 がれて来た伝統を守って行くため には、現在会の中心になって活躍 きく飛躍し、今まで長い間引き継 最後になりますが、今後会が大

現在まで立派な業績を残して来て 歴史のある山岳会はこれ等の問題 なポイントになる点だと感じる。 山岳会に於いては運営面での重要 がスムーズに行っているからこそ 展につながると思うし、特に地域 に持って行くことが今後の会の発 ではないだろうか。 会員を養成することが大きな任務 派な後継者を育てる義務と責任が 心してバトンタッチが出来る若い る若い人達に対し、自分達が先輩 あると思う。その時期が来たら安 達から受け継いで来たと同様に立

嶺呂のいわれ

ィー的な会と見られますが、私個 地域山岳会というとオールマィテ 人の考えになりますが、ここに書 話しが異なりますが、一般的に る言葉で、嶺は、山々・峰々の意 味で、呂は親愛・感動の念をこめ 野国の歌の中に、「久呂保の嶺呂 て使う接尾語です。万葉集、上手 **嶺呂とは、万葉集の中に出てく**

て、やはりその地域に直結した活 と同様に活動して行くにはどうし 動はどうしても避けて通ることは たら良いか?。問題とは少々異な いた地域山岳会の今後の期待とし 出来ないと思うし、その中で他会 れており、群馬岳連の会報の名に (赤城山)とか、「伊香保の領呂 (榛名山)などという風に使用さ

活動を行なう場合、その基礎とな して各役員がスムーズな連携を保 している。その他にも沢山の関連 役員会等にも進んで参加、出席を これ等の内容を盛り込んだ会の 任を持って当たり、会長を中心と 求されてくる。役務分担を明確に 織作りはキッチリとしたものが要 して役員が各自分担した任務に積 ているが、この辺のことが大きな ってくるように思う。 組織になればなるほど難かしくな に統率力を発揮出来るよう協力し 日山協、岳連、等に関しても同

修得は特に大切と思うし、先ほど

基礎技術から高度なテクニックの

で、同時に揮毫もお願いいたしま

命名は、前会長の故浜名一雄氏

ふさわしいものと思います。

会にすることだと思う。もちろん りますが、一つには個性を持った の活動をこなして行く場合その組 々雑多で細分化される中で、沢山 ートの会と比較してその内容が種

的にバックアップして会長がフル

私共の会ではOB会も陰で全面

ように持って行きたいものである。 会員の潜在能力を引き出して行く

にあるのではないだろうか。プラ 地域に密着した組織や、活動内容 いと思います。 布望、今後の期待等を書いて見た 験の中で私個人としての考え方、 に、いづれもその土地あるいは 最初に地域山岳会の特異性は第 年間も続けている。町の体協が主 に二度は町民を対象とした、市民 催するマラソン大会又、それ等の ハイキングを現在に至るまで三十

うです。現在までの私の軽浅な経 域山岳会(団体)の仕事となるよ ても、双方共その活動すべてが地

せてもらっているが、いづれにし

イベートな山岳会、クラブ、学校

前より常任理事という大役をやら

ります。群馬県山岳連盟には数年

係もあるが、町のスポーツ振興と、長の影響力が大変大きい。会の浮

沈がかかっていると云っても過言

会員個々の特性を生かし、適材適 少々の組織ではどうにもならない。

所に適任者を配し、リーダーとし、

人達との交流を得る場として一年 公民館活動の一環として、又町の

ではない。

前にも書いているが、プライベ

会だと思います。考え方に依って 府県の山岳連盟も同様に地域の山 、日山協を中心として、各都道

岳団体と言うことになると思いま

山の会に入会して二十七年目にな 私自身も境町という小さな町の

クル団体等が関連を持ってくる。

プをとるのが難かしい。 なぜなら 長としてはなかくくリーダーシッ

た会のそれぞれのセクションでリ 行ったら良いか。ここで先程書い 若い人達をどういう様に教育して

地域のあ

も、それだけでは地域山岳会の会 素晴らしい記録を持っている者で 能力と力を持っている者、沢山の 又以前にこと山に関しては抜群の

えを持って入って来る。これ等の

り、岩登り、尾根歩き、ハイキン

又地道に国内の山を志す者、沢登 えば、海外登山を目的とする者、

グ的な登山、その他種々雑多な考

その関係から、活動内容にしても、会員の信頼だけでなく、

場(市・県)、同じ市町村のサー その地域の体協、教育委員会、役 場合少々異なってくる。例えば、

なってくる。 又その活動範囲もどうしても広く らゆる山関係以外の関係者との連

ら少々の補助金をもらっている関 る統率力、その他すべての点で会 境町山の会を例にとると、町か

員とのまじわり、若い会員に対す

を通した活動と云うことになれば

細分化されるのであるから会全体 新人対策一つを取ってもこれだけ 性と云うものが必要となってくる。 ーダーが必要となり、任務の分担

いると思います。

2、岳連との連ながり、又OB会

〇美化運動の実施

奥多摩町、関東岳連

西山

長谷川、須田、 竹山、高田、下平、

事務局長・吉田、

監

||月||0日~||日、

谷川岳、七・一(安全登山の日)

七・二八~二九(尾瀬ゴ

0その他

としたパトロール

上町、中央協議会。

連休、谷川岳安全登山の日を中心

運難防止活動の啓蒙に役立てた。

〇全国遭難防止対策協議会

七月一二日~一三日、利根郡水

小林、

理事長・田中、常任理事・

盔

낊

女屋、 羽野、

太沢、

〇出席者 会長・星野、副会長

環であるパトロールを実施し

谷川岳を中心とした遭難防止の

ズでの登山隊解散)。

発)~六〇年二月八日(カトマン

中之条山の会、沼田山岳会、富士 氷クラブ、高崎経済大学山岳部、

重工山岳部、

前橋山岳会、松井田

五九年一〇月二〇日 (先発隊出

各会の親睦、技術の向上に務めた。

六〇年度事業計画

講習会、検定会等の実施を通じ、

の参加、関東岳連及び岳連主催の

日山協、

文部省主催の各種行事

向上のための訓練を行う。 パトロールの実施、救助隊の技術

谷川岳を中心とした遭難防止の

遭難防止活動

呂 練を行い、救助技術の向上、隊員 〇遭難防止・救助訓練 五九年度事業報告 遭難救助隊を中心とした救助訓

五九・九・九 五九・八・二二 天気図講習会

秩父小川山

間のチームワークなど成果をあげ 六〇・二・三

五・二十 (双子山) 埼玉岳連研 O奈良国体への参加

樻

O遭難パトロールの実施

六〇・一・二一冬山合宿報告会

十二・一〇冬山合宿検討会

〇海外登山関係

群馬県冬期アンナブルナI峰登

会、群馬ミヤマ山岳会、群馬県高

高会、群馬独峰会、群馬むすびの

山岳会、群馬星稜山岳会、群馬登

体連登山部、境町山の会、女子雪

〇・一四 (谷川岳)

(谷川岳) 救助訓練

六位

大間々山岳会、桐生山岳会、倉渕

沖電気高崎山岳部、

太田山岳会

出席山岳会

三・八(天神平)積雪期訓練

女子、総合第三位、皇后杯、 **売・10、10−1七**

成年

五・十三 (黒岩)

"

四・二二 (秩父) 新隊員訓練

六〇・三・三 谷川岳天神平 積雪期生活技術講習会

ロックフェスティバル 氷壁技術講習会 吾妻溪谷 〇海外登山

○各種研修会、講習会の開催 ○岳連会報の発行 きと啓蒙を図る。 ○国体への参加と選手の強化 〇日山協主催行事等への参加と各 鳥取国体への参加と選手強化 嶺呂の発行を通じ会員の結びつ 美化運動等市民運動への参加 会の交流。

海

昭和60年度行 事 予 定

対 員 外 総 務 遭 指 導 体 県予選(少年種別)榛名(13~14) 関東地区大会代表者会議(は) 岸記念体育館 新隊員訓練(21) 4 常任理事会(17) 部会総会(16) 。指導員総会(15) 雪上技術講習会(26) 谷川岳マチガ沢 春期救助訓練(26) 5 常任理事会(8) 谷川岳 県予選(成年種別)武尊(1~2) 関東地区大会審判員会議(8~9) 川場村 理事会・総会(16) 岩登技術講習会(9) 6 (勤労者福祉センター) 黒岩 関東地区大会(26~28) 谷川岳安全登山の日(7) 夏季救助訓練(7) 7 谷川岳一の倉沢 武尊山 常任理事会(10) 天気図講習会(21) 尾瀬ゴミ持ち帰り(3~4) 8 体協会館 常任理事会(14) ロックフェスティバル(8) ロックフェスティバル(8) 9 理事会(11) 赤沢南壁 赤沢南壁 秋期救助訓練(13) 黒岩清掃美化(6) 10 日山協海外遭対研究会 鳥取国体(20~25) 谷川岳一ノ倉沢 常任理事会(9) 11 常任理事会(13) 12 理事会(11) 冬山合宿検討会(8) 第24回日山協海外登山技 1 常任理事会(8) 冬山合宿報告会(20) 術研究会 氷壁技術講習会(2) 2 常任理事会(12) 松木沢 積雪期生活技術講習会(2) 冬期救助訓練(9) 3 理事会(12) 谷川岳天神平 谷川岳

この共済保険は、日本山岳協会 日山協山岳遭難共済

る山行であることが条件となって

限度として支払われます。そこで 支払った捜索費用を一○○万円を 代って捜索費用を負担した者)が 相続人がいない場合は、その者に 死亡した場合は法定相続人、法定 からの請求に基づいて被共済者(

遭難の有無が判然としなくても遭 空会社に捜索を依頼した場合には、 共済者の加入している山岳会、航 親族が警察、その他公的機関、被 48時間以上経過しても下山せず、 になります。また、下山予定日を 頼しなくとも遭難が発生したこと

動に対する謝礼は対象外となりま

備

らないし、公的機関が仕事の一環

ます。なお、領収証がなければな みなされ、基準額まで対象となり

として行った捜索、救出、

難が発生したものとみなされます。

「捜索者の範囲」には、捜索、救

③搜索者の交通管

「遭難」とはどういう状態かとい

した山岳会が最後まで責任を持て

事故は対象とされません。 おります。但し、海外登山による

会員が登山のため住居を出発し ◎死亡・後遺障害部分 の二つがあります。

と「スポーツ安全協会傷害保険

の対象とされ、不許可の山行は対

象とされません。 ようするに許可

岳会で承認された山行に限り共済

現在「日山協山岳遭難共済」

るものではなく、会員が所属する

動を行った者(警察、自治体等)

の捜索・救出・移送のため捜索活

ことが明らかな場合は、搜索を依 象条件などから判断して遭難した

象となりません。しかし、日当を

を上乗せして支払った謝礼金は対

被共済者が登山中に遭難し、そ

この共済は全ての登山を対象とす

難しても共済適用にはなりません。

次に共済の内容を説明します。

山岳会に登山計画書を提出し、山

険もあり、ここに紹介させていた だきます。登山を対象とした保険 が、今回は新しい制度を採った保 の保険に加入していると思います 事故に備えて各山岳会では何らか 登山活動をしていて万一の遭難

から適用されるため、この間に遭 ◎遭難搜索救助費用担保特約部分 意によるもの 地震、墳火や津波によるもの 被共済者の脳疾患、疾病、心 被共済者の自殺又は犯罪行為 時間以上経過しても下山せず、親 は、事故の目撃者が居る場合、気 に遭難とみなされ、前記の条件を なります。なお、下山予定日を48 必要としません。「遭難の発生」 的に遭難と思われるものは対象と 族等が搜索を依頼したときは、特 日当を支払った者に対し、これ

志

0円、冬の一般ルート7000円 費を含む)として冬の岩場800 定のない場合は日当(食費) 夏の岩場7000円、夏の一般ル

ート6000円が支払われます。 収入済額 86,706

0

0

0

0

0

50,000

50,000

Δ

昭和60年度予算 正

254,000

4,100,000

(収入の部) (単位円) 算額 級 337,666 424,372 会 費 530,000 10,000 520,000 未 54,000 収 金 226,000 172,000 交付金 ・補助金 2,909,000 2,909,000 0 寄 0 5,000 5,000 金 7,294 収 52,334 59,628 計 4,050,000 4,100,000 50,000 単位円)

礼金は、前紀日当に準ずる費用と 請求されない捜索者に支払った謝

支出の部) 目 額 Œ 支出済額 事 業 3,492,000 3,492,000 숲 費 70,000 70,000 事 費 55,000 55,000 旅 費 80,000 80,000 負 担 金 149,000 149,000

204,000

4.050.000

場合には、捜索救助費の仮払制度 事故通知と同時に捜索救

救助隊の派遣など急を要する

呂

と大正海上火災保険㈱とが提携し

X.	''
'n	
カモ	そ
月バ	0
۶,	特長
1	
<u>7</u>	2
9	第
Ė	_
見定	は
ŧ	•
٢	遭難
	難能

捜索救助費用が百万円を限度とし

金とは別個に支払われます。第二

て担保され、死亡・後遺障害共済

索活動がなくても救出、移送活動 に従事した者は捜索者とし、捜索 から捜索隊を呼び寄せた場合は 隊が編成するのに必要以上に遠方 所在がはっきりしている場合の捜

れる額に限度があり、地元で捜索

交通費は原則として必要と思わ

出、移送の活動を含み、遭難者の

4 連難者の移送費 正当以外はカットされます。

られず、現実に捜索活動に従事し

者は捜索を依頼された者だけに限

た者のうち、正当と思われる者は

要した費用は認められますが、 捜索者の管理下における移送に

は対象外となります。 索依頼者に引渡してから後の費用

応急手当に要した(救助費用の 遭難者の救出、移送の過程で、

後の費用は認められません。 られ、下山後病院等に収容された 部と認められる)ものに限り認め

26

共済期間が切れます。また、中途 中途加入しても翌年四月一日には

ため対象となりません。

共済金を受けられない事項

であり、外来の事故とはいえない

必要になった場合は遭難とみなさ 故の結果下山が遅れて救助活動が

①捜索者への日当、食糧、宿泊管 度として支払われます。

当該遭難救助隊に報酬規定(市

⑦器材費、消耗品費

ロープ、担架、袋等捜索活動に

(四ページへつづく)

捜索活動に必要とした通信費

計

れます。但し、同行者のみで下山

終期は四月一日に統一されており 共済期間は四月一日より一年間で

また、登山中に脳卒中で岩場から

・偶然性があり対象となります。

同行者のみの力によって下山した った場合は、被共済者の自力又は などにより登山統行ができなくな

基いて支払った費用のうち、正当 の範囲」は、捜索者からの請求に 者は含まれません。「捜索の費用 場の確認のために参加したような

と思われる部分を一○○万円を限

場合は遭難に該当しませんが、事

転落した場合は、疾病によるもの

間六六〇円)、割安であります。

○円で中途加入は月割となり(月

って凍傷になった場合は、 象とならないが、冬山で雪崩にあ

急激性

す。第三は掛金ですが年間七九二 されると仮払金との精算がありま 手続をし、確定的な支払金が決定 搜索救助活動終了後、共済金請求 を受けることができます。なお 出すると三○万円を限度に仮払金 助計画と捜索救助費用見積書を提

の要件に欠けるため基本的には対

に該当します。また、疾病、傷害 登山特有の事故と考えられ、遭難 捜索、救出の必要が生じた場合は、

きます。しかし、親族等が単に現 られれば捜索者に含めることがで

たとえば、凍傷は急激性、偶然性 ることになり対象になりません。 済金が支払われます。ですから継 たり、後遺障害が残った場合に共 の日から一八〇日以内に亡くなっ により、身体に傷害を被り、被害 中に、急激かつ偶然な外来の事故 てから、帰着するまでの登山行程

交通事故によるものでも、事故の

全て含まれます。したがって自発

的に参加した者でも、必要と認め

被共済者が谷底に転落し、

痛を起したとかいう程度のものは のや、転んで怪我をしたとか、腹 故でも、単なる交通事故によるも されます。したがって登山中の事 迷いなど、登山特有の事故に限定 雪、風雨、雪崩、落石、寒気、道 うことになりますが、転滑落、吹

遭難とみなされません。しかし、

続的状態下の傷害は急激性に欠け

(3) 第

月十五日に加入しても、 加入で注意することは、例えば五

ィ

被共済者(共済加入者)の故

形態、場所、時間的経過から常識 るもの)がある場合は規定額。

できた場合でも、事故のスケール、

町村役場等公的機関の証明印があ

昭和59年度収支決算書							
(収入	の部)					(単位円)	
科		目	子 算 額	補	正	収入済額	
繰	越	金	424,372		0	424,372	
숲		費	530,000	△ 10	7,400	422,600	
未	収	金	172,000	△ 12	6,000	46,000	
交付金・補助金 2,909,000			1,05	2,120	3,961,120		
寄	付	金	5,000	Δ	5,000	0	
雑	収	入	59,628	3	6,609	96,237	
	計		4,100,000	85	0,329	4,950,329	
(支出の部) (単位円)							

20 0 237 229 目 箅 額 正 支出済額 事 費 3,492,000 784,783 4,276,783 会 費 70,000 12,860 57,140 事 費 27,000 28,000 55,000 Δ 旅 費 80,000 5,400 74,600 負 担 金 0 149,000 149,000 備 226,860 27,140 254,000

512,663

4,612,663

そしてアイゼンを付けた時の登下

小林・田中・太田・大井 一九時~ 体協会館

滑落停止等。 午后二時三十分

的に訓練に励んでいた。アイゼン 的な滑落停止を教えてからは積極

期日

昭和六〇年四月一七日水

指導 総会は五月一五日(水

嶺呂二五号発刊、配付した

井知代(吾妻)四位水出由美子 (

③郵便物については観光課に岳連

②実務については当面、総務部が

①山岳連盟事務局の組織として県

観光課にあった方が便利である。一応じて実費が支払われます。

その他には、複数の遭難者が出

遭難捜索救助費用共済金として受

けられます。

その捜索救助活動に要した費用は

障害共済金は受けられませんが

|位大沢由里恵(前女)・三位中

を付けない登下降、雪壁の登り方で

隊の活動が機待されます。

は救助訓練風景)

下降がこわいと言っていたが基礎 雪に慣れない初心者は初め斜面の **倉沢に急きょ変更となった。**

達の協力を今后共にお願い致しま

討を行いたい。

事会に全員が出席して真剣に検

少年男子 一位松崎宣行(伊工)・

計が大変である。

合う。当面は総務で行う。特に会

| 損料相当分以外はカットされます。 | められますが、高額になる場合は | にならないかぎり新品購入費が認 | 品を購入した場合は、著しく高額 |のない器材や、当該捜索のため新

のあらましですが、例として登山

以上が「日山協山岳遭難共済

中に肺炎にかかり、行動不能とな

⑧その他の費用

ヘリコプター使用料等、

り死亡した様な場合、死亡・後潰

で人選を進める。実務者について

を説明した)。事務については、受

ロ 被共済者の斗争、自殺、

意によるもの。

共済金を受けられない事項 被共済者(共済加入者)の故

ハ 地震、墳火や津波など

強化選手としたい。

(理事長談)五月八日の常任理

(文責 竹山)

自然保護 六〇年行事については 四月二二日の部総会で決める。

少年女子 一位石井千代(前女)・

諭生(桐工)・四位橋本晃彦(伊工)

|位星野龍史(桐工)・三位星野

した人達は御存知の事と思います ので一般参加を含めた各会の会員

ては各指導員や岳連の総会に出度

指導委員会の行事計画につきまし

号(4) 講習会が五月二六日谷川岳一ノ倉 指導員の研修を兼ねた雪上技術 ムースに行なわれこれからの救助 雪上技術講習会報告

なった。総会の時点までは従来 出来るような方策が必要である。 が変っても、事務局体制を存続 通りで置くことが出来るが、人 事務局を置くことがむずかしく 部長室へ転勤となり、観光課に 経費のかからない大会にもって 女子一四名の参加、一~四位を 県予選会を実施・男子一八名・ 四月一三~一四日に少年種別の 行くべきだ。分担金を三万円と め、観光課で継続してもらうこと | 象とされますが、反復使用の見込 ば仲々もどしにくいことなどを含|要した器材の損料、消耗品費を対 は、総務部、吉田氏、富山氏で話 付は観光課とし、実務は岳連内部

事務局長が観光課から商工労働

大会でのTシャツ販売を依頼。

に置いている経緯や、一たん出せ|(山岳保険についてつづき)

いの規定があります。 た場合や、二重遭難の場合の取扱 ・疾病を問わない)、その捜索救助移送

度として支払います。 (この捜索救助共済金は、

後遺障害を残した場合…

4.5万円~150万円を支払います。 (例、両眼失明 150万円、片脚

搜索救助共済金

死亡・後遺障害共済金 バラエティにとんだ紙面をと思い (次号につづく)

けて、風の音を聴きながら、編集 を思い出させてくれた日の夜も更 後に、久方ぶりに青空の有ること 台風一過、大量の降雨を伴った 53 レス気味である。各会の多様な活 とすることは難しいもので、スト 押しつぶされてしまう。 ながら、ボリュームの有る記事に なかなかバランスのとれた内容

部より張られたワイヤーを使いス

を利用したチロリアン等が滝沢下 雨降る中で行なわれました。 滑車 を中心とした救助活動訓練等も小

救助隊の訓練も行なわれ、新隊員 まで熱心に行なわれた。又、当日

川・須田・八木原・富山・寺内 竹山・高田・西山・加藤・長谷 女屋・悴田・羽野・水野・大沢

海外 四月一〇日アンナプルナ報

その他 Tシャツ二〇〇〇着販売

部会報告

してもらう。

国体 五月三・六日現地調査

走はあかぎ国体T4コース。

~五月七日まで。協力を

予定、一着一五〇〇円。

妙義山でサルが増えてこまる。

(日程は今号二ページ参照)

告会、四〇〇名、報告書を配付。

遭对 结团式 三月二八日

事務局 谷川登山禁止は四月五日

(4)会長に観光課等の県関係に挨拶

総務 県体協評議員選出の件

石

ついては観光課から女屋に転送 の受ける箱を用意する。電話に

井副会長に依頼する。

雪上技術五月二六日印マチガ沢 研修会 五月二五日出 土合

一、事務局の移転について

山田昇(沼田)細貝登(前橋)

田氏が出演、四月三〇日放映。

昭和六〇年五月八日水 一九時~ 体協会館

* * *

指導 予定通り、雪上・岩登り

支払う共済金

補助金の内示一二九万円。 登はんは赤沢南壁を利用する。 査は桜川両岸の尾根を組合せる

予定)指導員総会を実施

新隊員訓練四·二一赤沢南 隊員訓練五・二六 一の倉

「群馬に生きる」に八木原、

四月一日付の県人事異動で吉田 O五月 K2(日本ヒマラヤ協会

〇中国黄河源流(日本ヒマラヤ協

〇メントーサ (六五五三m) 八木原圀明・佐藤光由(ミヤマ

〇「植村直巳物語」エベレスト 国体 三月二三~二四日、箕郷で ヤマ)山田・三枝(沼田)名塚 八木原・宮崎・佐藤・小林(ミ 小林君江(桐生山岳会女子) 森下緑・木村文江・下田美和子 審判員研修会を行った。四月一

一、事務局問題について

山・笠原・吉田 (木村)

原田・西山・長谷川・宮崎・富 女屋・悴田・水野・大沢・竹山

海外 アンナプルナ収支報告

収入 二六七〇九〇二二円 県補助 五000000円

上毛新聞より支援金

後

出席者 小林・田中・樋口・川辺

従来通り観光課に置いてもらいた

個人負担七00000円

二五二五〇〇円 二十七六000円

事務局については出席者多数が

四日日山協国体委員会に太田・

水野が出席。二巡目国体につい

ては改正の方向で検討中。関東 氏が会長に対し、事務局を観光課 一致した。(この会議の前に西山

事長が観光課にお願いすることで

い意見であり、会長、副会長、理

国体強化費一六二五〇〇 キャンプ協会理事高田政 六月一六日総会、理事会、

のことを考えると気の毒になるが の筆を走らせる。 紙面の都合でのせきれない原稿

リ貧が続くことである。 動と同調出来るようはげみたい。 気になることは、構成団体のジ